

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファイト		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 7日		～ 令和7年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・1つの事業所だけの施設なのと、お客様の週の利用日数が比較的多い(平均週4日利用)ことで、個人の強みや課題が把握でき、療育の積み重ねによる効果が得られている事。	・保護者との連絡ノートや個別の療育評価記録をとる事で日々の様子や過去の様子を振り返る事ができ、関係機関との連携の参考としている。	・PDCAサイクルを意識しながら、スタッフ間で会議を持ち利用者の最善の利益を考えた支援をしていく。 ・従業者にスキル向上の研修を受けられるよう工夫していく。
2	・ファイトは学習や社会性の課題を持つ子供が多く利用しているので、学校や学童保育など集団の中で困り感を抱えているお子様に、特性に合わせた環境を工夫したり、小集団の活動を通して従業者が橋渡し役となりながら、子ども同士で育ち合える療育内容を提供しています。	・週単位で療育内容を設定し、5領域がバランスよく組み込まれるように計画し、子どもは遊んでいる感覚で楽しく活動しながら出来る事を増やしていています。 戸外活動・おやつクッキング・SST・制作・LSTを週単位で行っています。	・利用者への療育内容の充実のために、特別支援教材を利用したり、客観的に評価や分析を行う(アセスメント)にも力を注いでいく。
3	・送迎サービスを行っている事で、仕事をされている保護者の方に喜んでもらえている。	・利用者にはシートベルトを必ず着用し、小型車で少人数送迎を行うことで安全運転を心がけています。	・リスクのある所はないか、送迎経路の見直しを行う。 ・全車ドライブレコーダーを設置できていないので、今年度は設置できていない車に設置する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・従業員の定着が図れていない事。	・管理者や主任指導員が、従業者への適切な助言やアドバイス・リーダーシップが適切に図れていないと思われる。 ・従業者の処遇の改善。	・雰囲気の良い職場作りと業務の適切な改善、一人一人の従業者がやりがいを感じられるような取り組みを考えていく。 ・処遇改善を行いながら、従業者のモチベーションの向上につながるよう努力していく。 ・求人情報を発信し、動いていく。
2	・広い支援室やクールダウンの部屋がないこと。	・十分な広さが無い事が逆に子供の行動や発言の把握向上にもなっているが、保護者目線からするともう少し施設としての充実が求められていると考えている。	・保護者の方に今の環境での利点を発信しご理解を得る。 ・クールダウン用に一人用テントを設置したり、定期的に物の片付けや収納を工夫し、過ごしやすいスペースになるようにする。 ・仕切りカーテンを設置する事で着替え等の時に適切なプライバシーの保護ができるようにする。
3	・休みがちなお客様が来なくなるような工夫の不足。	・療育内容がマンネリ化していないか。こどもにとって魅力のあるプログラムになっているか。困り感に対応できているかなど多角的に考えていく。	・問題の分析を行い、個々のこどもの寄り添いや対応に問題がなかったか。保護者の思いの把握でき対応しているか。専門性のある助言ができたか改めて見直ししていくようにします。